

国際アジアシンポジウム

世界同時不況を超えるアジア地域協力

東アジアの歴史的和解に向けて：欧州統合に学ぶもの
—クーデンホーフ・カレルギー生誕115周年記念—

主催：国際アジア共同体学会

青山学院大学科研・総研プロジェクト

助成；国際交流基金、後援；外務省*、国連大学、朝日新聞社、日本EU学会

協賛；マザーズ・キス財団、日本新技術促進機構

会場；青山学院大学総研ビル国際会議場

2010年3月11日(木)

「東アジアの歴史的和解に向けて」

総合進行司会；井出亜夫(日大教授)、脇坂紀行(朝日新聞論説委員)

開会挨拶；高木誠一郎(青山学院大)

第1部；「東アジアの歴史和解と共通文化に向けて」(15:00～17:30)

問題提起；羽場久美子(青山学院大学)

報告者

三谷博(東大)「東アジアの歴史問題—この10年の成果と問題点」

藤井省三(東大)「村上春樹とアジア共通文化」

アンドリュース・ホルバート(スタンフォード大学)「ヨーロッパから考える」

パネリスト

天児慧(早大)、河野健一(長崎県立大学)、兼田麗子(早大)、林達(日
中韓学生交流委員会代表)

第2部；「東アジア歴史的和解・共同宣言に向けて」(17:30～18:30)

特別講演；

西原春夫(早大元総長)「欧州統合から東アジア歴史的和解を考える」

共同宣言提案；羽場久美子、天児慧、井出亜夫

アジア共同体学会理事会(18:40～19:00)

3月12日(金)

「同時不況を超えるアジア地域協力」

午前の部

司会;中川十郎(日大)、田中哲二(国連大)

開会挨拶(9;00~9;30)

村松泰雄(朝日新聞論説主幹)

コンラッド・オステルウォルター(国連大学長)

ミハエル・クーデンホーフ・カレルギー

記念講演(9;30~11;00)

「日中韓は東アジア共同体構築のために何をなすべきか」

韓昇洲(韓国元外交通商大臣,元駐米大使)

呉建民(中国外交学院前院長,元駐仏大使)

第1セッション(11;00~13;00)

「世界金融危機後のアジア地域統合をどう進めるか」

進藤榮一(国際アジア共同体学会代表,筑波大名誉教授)

河合正弘(アジア開発銀行研究所長)

ヴォルカー・スタンツェル(駐日ドイツ大使,文学博士)

午後の部

司会;山本武彦(早大)、高橋一生(国連大)

第2セッション(14;00~16;00)

「アジア共通政策のシナリオをどう描くか;安全保障、金融通貨とFTA」

劉江永(清華大学日本研究所所長)

近藤健彦(元副財務官,明星大学教授)

金都亨(世宗研究院客員フェロー,韓国国際経済学会元会長)

間奏(16;00~16;15);甘建民;二胡奏者「空山鳥語」「月夜牧羊女」ほか

第3セッション(16;15~18;30)

「東アジア・グリーンニューディールと環境産業革命をどう進めるのか」

金泳鎬(韓国通産資源省元長官,柳韓大学長)

廣野良吉(地球環境戦略研究機関参与)

李志東(長岡技術科学大教授)

羅星仁(広島修道大学教授)

特別提言(18;30~18:45)「鳩山政権への提言」

古賀一成(衆議院議員、前両院議員総会長)

総括挨拶(18;45~18;55)

谷口誠(元国連大使、国際アジア共同体学会顧問)

「日中韓歴史和解」及び「アジア連携戦略」東京声明(18;55~17;00)

研究交流懇親会(19;05~21;00)、会場;アイビーホール青学会館

来賓挨拶;鳩山由紀夫(内閣総理大臣)*

程永華(中国駐日大使)*

伊藤憲一(日本国際フォーラム理事長)

赤尾信敏(日本アセアンセンター前事務総長)

シュテファン・A・フーバー(EU駐日公使)

小原政博(外務省アジア大洋州審議官)*

協力機関;東アジア共同体評議会、日本ビジネスインテリジェンス協会、駐日中国大使館、駐日韓国大使館、駐日EU代表部、(財)日欧産業協力センター、(財)経済広報センター

[註記]

- (1) 各セッションの第1報告者は40分の基調報告、第2、第3報告者は30分の個別報告とし、相互討議を予定します。報告者は約4000字(言語は自由)のペーパーを右記事務局にお送りください。secretariat.isac@gmail.com
- (2) *印;交渉中。(3)入場料;資料代として千円。
- (4)申込先;両日とも事務局(F;0426-91-9383、又は上記email)。定員になり次第締め切り。国際アジア共同体学会入会をお勧めします。